

生産性向上支援訓練のご案内

生産性向上支援訓練とは、企業が生産性を向上させるために必要な知識などを習得する職業訓練です。全国のポリテクセンター等に設置した生産性向上人材育成支援センターが、専門的知見を有する民間機関等と連携して、企業が抱える課題や人材育成ニーズに対応した訓練を実施します。

生産性向上支援訓練 3つのポイント

1 企業の生産性向上に効果的な知識や技法を習得！

- ・生産管理、組織マネジメント、マーケティング、データ活用など、あらゆる産業分野の生産性向上に効果的なカリキュラムを用意（全128コース(令和5年度)）

2 企業のニーズに合わせたオーダーメイドのコース設定が可能！

- ・自社会議室等を訓練会場とすることが可能（企業に講師を派遣します）
 - ・実施日時や訓練時間も調整可能（訓練時間は4～30時間で設定）
- ※従業員1人からでも利用できるオープンコースも実施しています



3 受講しやすい料金設定！

- ・受講料は1人あたり2,200円～6,600円（税込）
- ・条件を満たす場合は国の助成金（人材開発支援助成金）を利用可能

22年度
岡山県実績

受講者数 **1,824**人
※'23.3月末実績

利用した企業数 **229**社
※'23.3月末実績

受講者評価
(業務への役立ち度) **98.1**%
※'23.3月末実績

訓練受講までの流れ

課題や方策の整理

- ・センター担当者が企業を訪問し、人材育成に関する課題や方策を整理します。

訓練コースの
コーディネート

- ・相談内容を踏まえて、課題やニーズに応じた訓練コースを提案します。

- ・現場の課題を発見し、改善する方法を学びたい。
- ・RPAを活用して業務を自動化したい。
- ・テレワークを導入して業務を効率化したい。

- 分野・コース
- 生産管理、流通・物流、バックオフィス など
- ・生産現場の問題解決
 - ・RPA活用
 - ・テレワークを活用した業務効率化 など

- ・従業員の仕事の効率化を促進したい。
- ・リスクを低減させる方法を学びたい。
- ・ベテラン従業員の技術を後輩に継承させたい。

- 分野・コース
- リスクマネジメント、組織力強化、生涯キャリア形成 など
- ・成果を上げる業務改善
 - ・リスクマネジメントによる損失防止対策
 - ・作業手順の作成によるノウハウの継承 など

- ・顧客満足度の向上を図りたい。
- ・消費者の動向を営業に活用したい。
- ・インターネットを活用して販売促進を図りたい。

- 分野・コース
- 営業・販売、マーケティング、プロモーション など
- ・マーケティング志向の営業活動の分析と改善
 - ・提案型営業手法
 - ・提案型営業実践 など

- ・データ集計の作業を効率化したい。
- ・マクロを使って定型業務を自動化したい。
- ・集客につながるHPを作成したい。

- 分野・コース
- ネットワーク、データ活用、情報発信 など
- ・表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化
 - ・集客につながるホームページ作成 など

訓練受講

- ・所定の期日までに受講料の支払い等の手続きを行い、訓練を受講してください。

※相談内容によっては、少人数からでも受講できるオープンコースのご利用を提案する場合があります。

らしく、はたらく、
ともに

お申込み・お問い合わせは



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構岡山支部

ポリテクセンター岡山 生産性向上人材育成支援センター



〒700-0951 岡山市北区田中580 E-mail : okayama-seisan@jeed.go.jp
TEL : 086-241-0076 FAX : 086-241-1909

ポリテクセンター岡山

(2023.12)

生産性訓練 利用者の声①

藤井空調工業株式会社

「時間管理や顧客満足度に対する社員の知識が向上しました。」

利用コース情報

- ・ 訓練コース名：「050 提案型営業実践」
- ・ 訓練期間：令和4年6月
- ・ 受講者数：10名

プロフィール

- ・ 所在地：石川県小松市
- ・ 従業員数：22名
- ・ 事業内容：空気調和設備等の設計・施工・保守ほか

<訓練を利用した事業主の方の声>

Q 利用した感想をお聞かせください。

A 訓練を利用した結果、少なからず社員の意識の向上につながっています。特に時間管理や顧客満足度の向上については、管理職だけでなく一般社員の意識も大きくよい方向に変化してきていると感じています。生産性向上支援訓練は、訓練内容、実施時期、訓練時間等が当社の都合に合わせてカスタマイズできるため、要望が十分に反映され、経営方針に沿った内容の訓練が実施でき利用してよかったと思っています。

今後は、当社の課題解決に結びつくような内容や階層別のスキル向上・習得を目的とした訓練コースを実施することによって生産性を向上させるだけでなく、時代の変化に沿った改革が推し進められるような訓練を取り入れていきたいと思っています。



<訓練を受講した従業員の方の声>

Q 受講した感想をお聞かせください。

A 私は現場管理の業務を行っていますが、業務のアウトソーシング、報連相や時間管理がうまくできていないことに課題を感じていました。今回の訓練は、営業という業務のみでなく、社内・現場でのコミュニケーションに役立つ内容でした。実際に訓練を受講することで、課題を再認識することができよかったです。また、営業にも様々な手法があり、今までやってきたこととこれから実践してみたいことを認識できたのもよかったです。

今までは目先の仕事をこなすことに集中しがちでしたが、全体を把握し顧客の要望を満たすことができるよう、訓練テキストも読み返しながら学んだことを常に意識していくよう心がけていきたいです。

生産性訓練 利用者の声②

きゅうびせいら

株式会社九飛勢螺 鹿児島工場

「従来からのやり方や習慣の中のムダを改善することで生産性向上になると気づきました。」

利用コース情報

- ・ 訓練コース名：「042 成果を上げる業務改善」「048 ものづくりの仕事のしくみと生産性向上」
- ・ 訓練期間：令和4年6月～7月
- ・ 受講者数：延べ28名

プロフィール

- ・ 所在地：鹿児島県鹿児島市
- ・ 従業員数：106名
- ・ 事業内容：各種工業用ファスナー等の開発・製造・販売

<訓練を利用した事業主の方の声>

Q 利用した感想をお聞かせください。

A 訓練で学んだことを継続的に実施するために、製造部長、各製造課長が中心となって定期的に会合を開いており、グループワークを通して現場に潜在している問題点の見つけ方、解決の糸口を見出す等、少しずつではありますが成果が出ていることを実感しています。今後は、当たり前となっている作業を見つめ直し、生産現場のあらゆる工程に対応したオリジナルの省力化と自動化等により業務効率化と生産性向上に取り組みたいと考えています。

<訓練を受講した従業員の方の声>

Q 受講した感想をお聞かせください。

A 「この訓練を受けてどのように業務に活かしますか？」訓練を受講する冒頭で講師から言われた一言が、今でも頭に残っています。これまでも業務改善に関するセミナーは数回受けており、考え方やスキルはなんとなく身に付けていたのですが、「どのように？」と言われると答えが出ませんでした。訓練を受講して、費用をかけた大きい効果の改善から取り組むのではなく、まずは従来からのやり方や習慣の中にあるムダの改善を行い、その中から出た利益で大きい改善と効果をねらっていく、といった考え方に変わりました。実際に課やグループ単位でもこの動きが浸透しており、改善内容の情報共有や水平展開にもつながってきています。今後どのように活かすか、大事な気づきを教えてもらいました。

